

## 1 学期終業式 式辞 ((平成 29 (2017) 年 7 月 20 日 (木))

1 学期を振り返って、

楽しい、うれしいことの多い 1 学期でした。私と一緒にこの学校に入学した 1 年生のみなさんはどうでしょうか。

本当に幸せな 1 学期間でした。それは、素晴らしい北高生の姿にふれることが多かったからだと思います。

特にうれしかたのが、野球応援です。当日の一体となった応援はもちろんのこと、その前の全体練習、さらには応援団の練習も誰一人手を抜くことなく、一生懸命取り組んでいる姿がすばらしかったです。

そんな全校が一体となる機会をくれたのは、必死になって応援できたのは、野球部のみなさんの一生懸命な姿があったからです。ありがとうございます。心から感謝します。野球部のみんな、特に 3 年生は、この数日間だけでなく、ずっと、この日のためにやってきた。本当にご苦労さん。

さて、夏休みが始まるにあたって、みなさんをお願いを 2 つしたいと思います。

夏休みは、これまでの学校のある日と違って、時間の制約から解放される期間です。時間を有効に使ってほしいと思います。高校 3 年間は、思ったより時間がない。人間として最も成長する高校 3 年間、その 1 分 1 秒とも無駄にしてはいけません。

3 年生は希望する進路の実現に向けて、本気に必死になって欲しい。1、2 年生は、普段時間の制約があってできないことにどんどんチャレンジして欲しい。いろいろな経験をして欲しいと思います。部活動もその一つでしょう。

先日、地域の若手経営者の方をお招きして実施した講演交流会では、多くの皆さんが、深く、地域の将来、自分たちの将来のことを考えたようです。全生徒の感想文を読ませていただきました。その若手経営者との交流会では、元気がなくなっていく故郷のために何ができるか、真剣に考え始めた人もいたようです。

自分たちが地域にできることとして、地域のボランティアに参加したいという人がたくさんいました。中には、ボランティア 100 時間と、具体的な目標を掲げている生徒もいました。目指す目標を掲げるというのは、本当に素晴らしい。地域の中でいろいろな経験をして、経験を経験だけで終わらず、考えて欲しいと思います。

4 人のパネラーの人の姿をみて感じた人もいたと思いますが、経験に裏付けられた言葉には迫力があります。説得力があります。経験を積み重ねた人は自

信に溢れています。3年生になったとき、入試や就職試験などにも生きてくるのではないのでしょうか。

池岡先生から連絡があると思いますが、本校にはたくさんボランティアの依頼があります。同窓生の有志の方がブラタモリを滝部と川棚で行うという企画も提案してくださっています。こうした機会を活用して、多くの生徒に参加して欲しいと思います。

自分たちが地域にできることの2つめ、それは、この北高を守ること。母校を守ることです

もしも、この地域から北高がなくなれば、高校のない地域に若者が帰ってくるだろうか。

自分の子どもが高校生になったとき、遠くに通わなければならないという状況になれば、通学の便利がいいところに住んで、この地域にもどってこなくなります。

学校を守るためには、来年の1年生にたくさん入学してもらわなければならないなりません。

そのためにも、中学生にとって魅力のある高校にならないといけません。中学生があこがれるような先輩、高校生にならないといけません。

通学途中、すれ違う大人だけでなく、中学生に元気で丁寧な挨拶、声をかける。これは、誰でもできることではないでしょうか。

君たちがこの北高に入学して、心からよかったと思っているのなら、弟や妹がいれば、もちろん。中学3年の後輩に、北高って楽しいよ、北高において、声をかけて欲しいと思います

私も中学校に何度も足を運んで、この北高のよさを、新高校のよさを伝えていますが、先輩の頑張っている姿、先輩の言葉に勝るものはありません。

経験に裏付けられた言葉は、迫力があるから。

是非、協力してほしい。

何よりも、私は、この1学期の間、君たちをみて、心から、たくさん生徒が本校に入学し、君たちのようにこの高校で成長してほしいと思っています。そのチャンスを多くの中学生に与えることができればと思っています。

夏休みの時間を有効に使うこと。この素晴らしい北高にたくさん後輩を迎えるための努力を、学校、先生、生徒みんなが一体となって取り組もうという2つのお願いをして終わります。